

コード	31825
名称	情報と職業 (2025-前期-月3)
1.開講年度	2025
2.開講期	前期 月3限
3.講義コード	31825
4.授業科目	情報と職業 (2025-前期-月3)
5.単位	2
6.担当教員	藤本 宏美
7.配当学年：法学科	1年以上
8.配当学年：経済学科	1年以上
9.配当学年：経営学科	1年以上
10.配当学年：商学科	1年以上
11.備考	(事前申込科目) 定員160名, 教職とDSL教育プログラムを優先する, 教科書必須

12.実務経験

13.実務経験：内容

14.実務経験：授業との関連

15.初年次教育

16.授業形態

講義

演習

実習・実技

17.授業方法

受動型

アクティブラーニング：課題解決型

アクティブラーニング：グループワーク・ペアワーク

アクティブラーニング：プレゼンテーション

18.受講生のPC等使用

PC・タブレット（学生自身が準備）
スマートフォン

19.接続科目

地域社会
国際社会
産業界

20.授業の概要

本講義は、高校「情報」教員免許取得のための必修科目である。高校生の情報産業に対する職業観について指導できる教養を身に付けることを目的とする。

また、情報化の発達に伴い、様々なことが社会に影響を及ぼしている。情報技術を専門とする仕事でなく、一般の職業活動における情報技術(ICT)の現状、これを利用する際の心得（倫理）、問題点などこれらの影響を多角的に捕らえ、情報産業の現状を把握すると共に職業としての情報について考える。また情報システムに関係する教養を習得し、情報産業とのつながりを理解しておく必要がある。

そして、教職課程や情報技術を専門とする仕事でなくとも、一般の職業活動における情報技術(ICT)の現状、これを利用する際の心得、問題点と最近の労働のあり方について考える。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

この授業内容を学習することで、『高等学校情報科の教員免許状』を取得するために必要な基本的な知識や、情報化の進展がビジネスや職業に及ぼす影響を理解する。また、その知識等を用いて情報科の授業を構成する基礎的な力、「情報リテラシー」、「プレゼンテーション能力」を身に付けていく。

ICTの進歩から、これからの教科「情報」に求められていること、情報科の教員像を考える力を身に着ける。

情報ネットワーク社会の中で、職業人として適切にふるまうことができる。

授業終了時に、学生が以下の項目ができるようになることを到達目標とする。

1. 情報技術の進展により変化している社会の現状を説明できる。
2. 社会実装されているデータを理解し、どのような領域で活用されているかが説明できる。
3. 情報化社会における今後の自分の生活の在り方を、自分なりに考え発信できる。

22.授業計画

【講義方法】

本講義は対面授業で行われる。

講義資料がある場合にはWebClassを通じて配布する。

【大学閉鎖時の対応】

本講義は、大学閉鎖時にはZoomを通じて行う。講義資料については、WebClassを通じて配布する。また、Zoomでの講義が過半数にのぼると予想される場合、成績評価は出席及び毎回の課題で50%、期末レポートで50%へと変更する。このアナウンスは、授業またはWebClassを通じて行う。

【データサイエンス・リテラシー教育プログラム】

本科目は「データサイエンス・リテラシー教育プログラム」の選択必修（A）科目でもある。各講義と文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」要件との対応は次の通り。

項目1（社会で起きている変化、データ・AI利用活用の最新動向）：第1, 2, 14, 15回

項目2（社会で活用されているデータ、データ・AIの活動領域）：第3, 4, 5, 6回

項目3（データ・AI活用の現場と利用のための技術）：第2, 3, 7, 8回

項目4（データ・AI利活用とデータを守る上での留意事項）：第11, 12, 13回

【講義予定】

1. オリエンテーション、情報社会と情報システム：1章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

2. 情報化によるビジネス環境の変化（1）コンビニエンスストアにおける情報の活用事例など：2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

3. 情報化によるビジネス環境の変化（2）ビジネスモデル：2章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

4. 企業における情報活用（1）製造業における情報システム：3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

5. 企業における情報活用（2）様々な業種でのコンピュータの活用事例：3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

6. 企業における情報活用（3）企業内ネットワークでの情報共有：3章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

7. 概念構造の分析と表現

事前学修：配布資料の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

8. ネットビジネス インターネットによる新しいビジネスモデル・大学でのインターネット利用：4章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。7回目で学習した概念構造について事前に学習してくる。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

9. 働く環境と労働観の変化（1）職場での情報リテラシー：5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

10. 働く環境と労働観の変化（2）仕事の内容変化：5章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

11. 情報社会における犯罪と法制度（1）著作権法違反：6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

12. 情報社会における犯罪と法制度（2）コンピュータウイルスや迷惑な電子メール.情報犯罪：6章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

13. 情報社会におけるリスクマネジメント：7章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

14. 明日の情報社会（1）情報社会：8章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。7回目で提示した概念構造について事前に学習してくる。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

15. 明日の情報社会（2）コンピュータと教育：8章

事前学修：教科書の該当箇所を読んで概要を整理する。7回目で提示した概念構造について事前に学習し成果を示す。

事後学修：授業の復習をし、問題を整理する。

23. 予習・復習

予習：事前学修の該当箇所を読み、整理をしておく（2時間）

復習：授業内容を整理し、自分でまとめ直す（2時間）

日常的に、今後の歩みたい方向性、こういった職業を選択し、どういう形で社会で活躍したいのかなど考察するなど、テキストを活用して予習と復習をすること。

24. 注意事項

出席：出席をとるのでスマートフォンを必ず毎回持参のこと。

フィードバック：後日コメントする。

教科書を毎回必ず持参すること。

25. 教材

26. 教科書

ISBN	978-4274216756
書名	情報と職業（改訂2版）
著者	駒谷昇一／著 辰己丈夫／著
出版社	株式会社オーム社
価格	2500

27. 参考書

ISBN	978-4485665626
書名	情報と職業 改訂3版
著者	豊田雄彦／著 加藤晃／著 鈴木和雄／著
出版社	電気書院
価格	2000

28.授業関連科目

情報処理概論I, II

情報管理論

29.授業関連資格

高校「情報」教員免許(必修科目)

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	45
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	15
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	5
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	3
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	2
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	4
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	1
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	10

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	毎回講義についてレポート提出もしくは小テスト・成果発表（WebClass利用）を行う（目標にどの程度達したかのレポート） 小テストとレポートと成果発表を合わせて70%とする	20
レポート	毎回講義についてレポート提出もしくは小テスト・成果発表を行う（目標にどの程度達したかのレポート）（WebClass上に提出レポート，指定用紙で提出するレポート） 小テストとレポートと成果発表を合わせて70%とする 講義内容をなぞっただけの内容のものや Web のコピーは，認められない．Web を参考にする場合も必ず自分で書き直してできれば自分の意見を添えること．	40
成果発表	毎回講義についてレポート提出もしくは小テスト・成果発表（WebClass利用）を行う（目標にどの程度達したかのレポート） 小テストとレポートと成果発表を合わせて70%とする	10
受講態度	受講態度は、すでに講義で話した内容を聞いてない、指示しているとおりに行っていない、講義を受ける準備が出来ていない(事前学修、事後学修)等についての採点し、評価する。 なお、「教科書等の持参なし」や「居眠り」、「指定した以外でのスマホの使用」は減点となる。	20
その他		